

修了評価の方法

評価基準作成者： 横田 絹代

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 A 評価・5肢選択形式 B 評価・4肢選択形式</p> <p>3 出題数 A 評価・5肢選択形式 30問・記述式 2問 B 評価・4肢選択形式 40問・記述式 3問</p> <p>4 合否判定基準 60点以上を合格とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 担当講師による補習の上、再試験を実施する。 (補習費用及び再評価費用：3,000円) 但し、再試験の回数は2回まで。したがって最終試験の結果、不合格となった者は未修了者となります。</p>
------------	---